

アムスルだより

No. 5 5 2002年 5月10日

Akajima Marine Science Laboratory 阿嘉島臨海研究所



〒901-3311 沖縄県島尻郡座間味村字阿嘉179

ホームページもご覧下さい。http://www.amsl.or.jp

TEL:098-987-2304 FAX:098-987-2875 E-mail:amsl@ryukyu.ne.jp



海の底の静かなハンター

イモガイの仲間

海の水もずいぶん温かくなり、朝 10 時の水温は 25 を越え、26 を上回る日も出てきました。みなさんもますます海に行くことが多くなってくることでしょう。海に行くときには、「危険生物」に十分気をつけて下さい。「危険生物」とは、人にかみついたり、刺したり、毒をもっていたりする生き物たちのことです。アムスルだよりでは、これまでにウミヘビ (No.10) やオニヒトデ (No.12)、ウンバチイソギンチャク (No.32)、イラモ (No.37) などの危険生物についてお話ししましたが、今回はもう一つ、イモガイの仲間を紹介したいと思います。

イモガイは巻き貝の仲間、里芋さと芋に似た形をしているので、その名があります。みなさんの食べるマガキガイ (ていじゃら) とよく似た姿すがたをしていますが、マガ

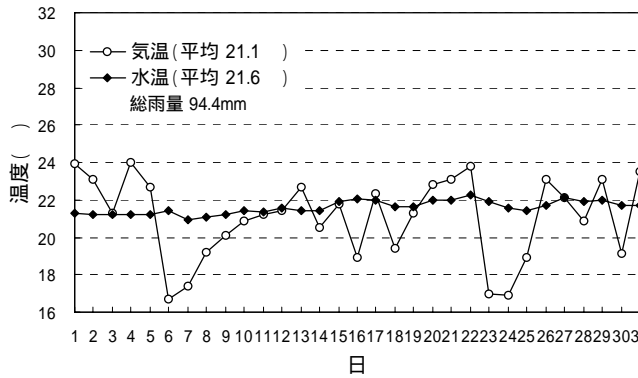
キガイの殻からの口の部分は赤く、2つの目が目立つので、見なれるとすぐに区別できるようになります。マガキガイは人を刺しませんが、イモガイは人を刺すことがあるので、間違えないように気をつけなければなりません。

慶良間けらまの海からは、これまでに 39 種のイモガイの仲間が見つっていますが、そのほとんどが毒をもっています。中でも有名なのは、アンボイナガイとタガヤサンミナシガイです。アンボイナガイに刺されると、はげしく痛み、しびれが広がります。そして、ひどいときには呼吸ができなくなり死んでしまうこともあります。タガヤサンミナシガイの方は、それに比べると毒は弱いようですが、やはり危険な貝には違いありません。両方とも昼は砂にもぐっていて、夜に活動し始めますから、海の底の砂に手を入れたり、夜海に行くときには、注意して下さい。

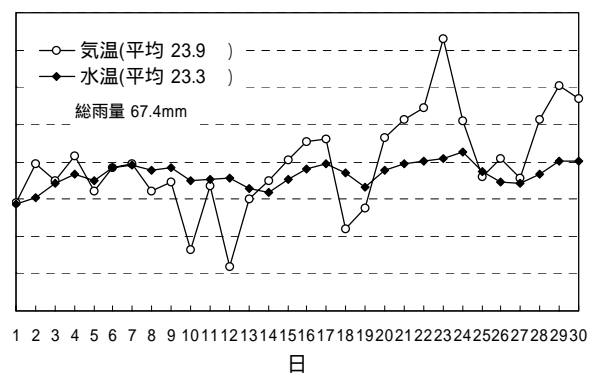
とは言え、イモガイたちも別に人をきずつけるために毒をもっているわけではありません。ふだんイモガイたちは、エサをとるためにその毒を使っているのです。イモガイはエサをとる時、管のような口をのばし、獲物えものにふれた瞬間しゅんかん、口の奥にある「もり」を打ち込んで食べてしまいます。「もり」には、打ち込んだときにぬけないようにかえしがついていて、そして注射器ちゅうしゃきのように毒液どくえきが仕込んであ

定点観測

2002年3月



2002年4月



るのです。イモガイたちのエサは、魚やほかの貝やゴカイの仲間で、イモガイの種類によって、この3つのどれを食べるか決まっています。先ほどお話ししたアンボイナガイは魚を、タガヤサンミナシガイはほかの貝を食べるタイプです。以前、研究所で飼っていたアンボイナガイには、キビナゴという魚を食べさせていたのですが、水槽の中にキビナゴ（冷凍されたものをとかして与えていました）を入れると、まず水管という管をのばして動かしはじめます。きっとにおいをかいているのでしょう。そして、そろそろと近づき始めます。いよいよ近づく来ると口をのばし、ふくらませ、キビナゴをひと飲みにしてしまいました。10cm くらいの大きさのアンボイナガイが、7~8cmの魚を丸飲みにしてしまうのです。残念ながら、もりを打ち込むところは、口の中なので見ることはできませんでしたが、その時の口のふくらみようには、見た人みんなが驚いていました。

イモガイの仲間の多くは、見た目もたいして華やかではなく、石ころのように海底に転がっていますが、このような危険とおもしろさを体の中に秘めています。

阿嘉島の海より

- サンゴの産卵 -

みなさん、ゴールデンウィークはいかがでしたでしょうか？今年のゴールデンウィークは晴天が続き、たっぷり遊べた人もいれば、逆にとっても忙しかった人もいることでしょう。そのゴールデンウィークも終わり、今年もまたサンゴの産卵シーズンがやってきました。毎年、この時期になると「今年のサンゴの産卵は何日頃ですか？」という問い合わせが研究所に多く寄せられます。ただ、人間のお産も予定日からズレることがあるし、週間天気予報もはずれることがある（よくはずれる？）ように、サンゴの産卵日も「大体この頃だろう」という予測はできるのですが、「何月何日に産卵します」と言うのはなかなか難しいのが現状なのです。しかし、それでもあえて今年のサンゴの産卵日を予測してみましよう。研究所でサンゴの産卵を予測する場合、卵の成熟具合を観察したり、海水温度の上昇具合を解析したりしておこなっているのですが、それらから予測される今年のサンゴの産卵日はズバリ...5月27日。これからの水温の上昇具合で変わってきますが、前後1日位のズレではないでしょうか。